第３３回日本産業衛生学会全国協議会
フィットテスト研究会産業部会自由集会報告

2023.10.28　16:15～17:15

フィットテスト研究会産業部会

第33回日本産業衛生学会全国協議会

フィットテスト研究会産業部会

自由集会６

日　時：2023年10月28日(水)　16:15-17:15
会　場：自由集会/委員会会場１　　3F練習室2
テーマ：屋内アーク溶接作業に続き、
化学物質取扱作業場の一部でも義務化
～ フィットテスト、目で見て、体で感じてみませんか！ ～

フィットテスト研究会はフィットテストに関する研究や普及を目的に2010年に設立しました。これまで医療関係従事者や衛生管理者・労働衛生コンサルタント等に対し、フィットテストインストラクター（FTI）養成講座を開催し、1000名以上のFTIが全国で活動しています。

本年4月1日から屋内作業場で金属アーク作業等を行う作業者は1年以内に1回のフィットテスト実施が義務付けられ、フィットテスト実施者（厚生労働省による教育実施要領要件を満たした者）によるフィットテストが行われています。また、来年4月からは、リスクアセスメント対象化学物質を使用する作業場のうち呼吸用保護具によるばく露防止対策を行う場合や、作業環境測定結果が第3管理区分の場合で呼吸用保護具により経気道ばく露を防止する場合には、1年以内1回のフィットテストが義務付けられます。

化学物質を取扱う作業者の一部にも義務化されたフィットテスト。これからは、多くの産業保健職が職場で身近に見るものになるかもしれません。
フィットテッストの方法は定性式と定量式があり、定量式にも様々な測定機器があります。この機会に多くのフィットテスト方法を体験し、現場の方とのコミュニケーションのポイントを習得しませんか。

KANOMAX The Ultimate Measurements
クリーン、ヘルス、セーフティで社会に 興研株式会社
シゲマツ
SIBATA
3M Science. Applied to Life.
トランステック

プログラムおよび抄録

16:15～17:15　**自由集会 6（マスクフィットテスト研究会産業部会）「屋内アーク溶接作業に続き、化学物質取扱作業場の一部でも義務化～フィットテスト、目で見て、体で感じてみませんか！～」**

座長：川島　正敏（東海旅客鉄道株式会社）

津田　洋子（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）

自由集会/委員会会場 3(YCC 県民文化ホール 3F 練習室 5)

第 33 回日本産業衛生学会全国協議会

マスクフィットテスト研究会産業部会　自由集会

座長：川島　正敏（東海旅客鉄道株式会社）

屋内アーク溶接作業に続き、化学物質取扱作業場の一部でも義務化 ～フィットテスト、目で見て、体で感じてみませんか！～

津田　洋子
帝京大学大学院公衆衛生学研究科

フィットテスト研究会はフィットテストに関する研究や普及を目的に 2010 年に設立しました。これまで医療関係従事者や衛生管理者・労働衛生コンサルタント等に対し、フィットテストインストラクター（FTI）養成講座を開催し、1000 名以上の FTI が全国で活動しています。

本年 4 月 1 日から屋内作業場で金属アーク作業等を行う作業者は 1 年以内に 1 回のフィットテスト実施が義務付けられ、フィットテスト実施者（厚生労働省による教育実施要領要件を満たした者）によるフィットテストが行われています。また、来年 4 月からは、リスクアセスメント対象化学物質を使用する作業場のうち呼吸用保護具によるばく露防止対策を行う場合や、作業環境測定結果が第 3 管理区分の場合で呼吸用保護具により経気道ばく露を防止する場合には、1 年以内 1 回のフィットテストが義務付けられます。

化学物質を取扱う作業者の一部にも義務化されたフィットテスト。これからは、多くの産業保健職が職場で身近に見るものになるかもしれません。

フィットテッストの方法は定性式と定量式があり、定量式にも様々な測定機器があります。この機会に多くのフィットテスト方法を体験し、現場の方とのコミュニケーションのポイントを習得しませんか。

使い捨て式防じんマスクの着脱

座長の川島先生、ご講演の津田先生、　息ピッタリで、時間管理もバッチリ・・・

座長
産業部会　副代表
　川島　正敏　先生

講演
　産業部会　代表
　津田　洋子　先生

使い捨て式防じんマスクの着脱

興研・重松・３Mの３社から
　各マスクの特徴と着脱のポイント、
シールチェックの説明がありました。

定性フィットテストのデモンストレーション

　定性フィットテストのコツを、超短縮でも、ポイントを押さえた説明がありました。
とても分かりやすい内容でした。

定量フィットテストのデモと体験
（柴田科学・重松製作所・トランステック・日本カノマックス）

ご参加の皆さま、少々時間が足りないようでした。
各社の説明に食い入るように質問などしながら、体験されていました。

PAPRの紹介

フィットテストが必要なPAPR（タイトフィット）についての説明、着脱などのポイントを押さえてご説明頂きました。

最後に

全国協議会が大きく2会場（YCC県民文化ホールと山梨県立図書館）に分散しており、参加の方から、会場まで少々迷子になりながら辿り着いたと仰っている方もいました。

そのような中38名のご参加を頂きました。初めてご参加くださる方も多くいらっしゃいました。
研究会のスタッフは代表以下9名、これまでで一番の参加者でした。
感染部会代表和田先生もにご参加いただきました。ありがとうございました。

フィットテストが徐々に浸透していることを実感できる自由集会になりました。

サブテーマ「目で見て、体で感じてみませんか！」実感できる自由集会となりました。
ご尽力頂いた代表津田先生、副代表川島先生、そして、いつも温かくサポートしてくださるメーカーの皆さまに感謝申し上げます。

甲府駅までの帰路、ちょっぴり信玄公祭りを味わった事務局でした。ありがとうございました。